

令和7年度第1回札幌医科大学医療安全監査委員会開催報告

札幌医科大学医療安全監査委員会規程に基づき、札幌医科大学医療安全監査委員会を開催し、監査を実施したので、次のとおり報告する。

1 監査の方法

札幌医科大学医療安全監査委員会規程第3条第1号に基づき、札幌医科大学附属病院における医療安全に係る管理状況について、医療安全管理責任者等から説明の聴取及び資料閲覧等の方法により報告を求め、監査を実施した。

2 監査委員

委員長	橋 場	弘 之	(田村・橋場法律事務所 弁護士)
委 員	南須原	康 行	(北海道大学病院 病院長)
委 員	高 田	久	(公益財団法人北海道盲導犬協会 副会長)
委 員	杉 本	祐 子	(病院ボランティア・文化教室講師)
委 員	小 林	宣 道	(札幌医科大学医学部 教授)

3 監査の実施日

令和7年7月2日(火) 14時00分～16時00分

4 監査の内容及び結果

(1) 令和6年度第2回医療安全監査委員会開催報告について

令和7年2月4日に開催した委員会の概要につき報告を受けて確認した。

(2) 令和6年度医療安全全部活動報告について

令和6年度の医療安全全部の活動実績について報告を受け、質疑応答等により詳細の確認を行った。令和6年度第2回医療安全監査委員会で意見した「特定機能病院間相互のピアレビューで訪問大学から受けた指摘事項の改善状況の報告」について、令和7年度は特定機能病院間相互のピアレビューを未だ実施していないことから、実施後に報告してもらうこととした。医師からのインシデントレポートの報告数は過去最高の件数となったものの、総報告数が増加したため、目標である8%には到達しなかったことを確認した。医療事故防止対策委員会(副院長及び教授、各部門の副部長等の職種で構成)による病棟等の巡回は、病院の上層部が現場を確認する優れた取り組みである。令和6年度に発生したインシデントとして、PTP シート誤飲が取り上げられ、対応状況を確認した。PTP シートを切り離す行為をした時点でインシデントレポートの報告をしてもらうことにより、抑止に繋がることを提案した。病院機能評価で指摘された高難

度新規医療技術実施前の事前連絡について、様式の作成や各部署への呼び掛けといった対応が徹底されていることは優れた取り組みである。

(3) 令和7年度医療安全部活動計画について

令和7年度の医療安全部の活動計画について報告を受けた。医療安全部の目標としては、目標1及び2は令和6年度からの継続であるが、目標3を「職員の適切な医療安全行動を支援する。」に変更していることを確認した。また、身体拘束最小化の取り組みについて実施方法を確認した。

5 総括

令和6年度の監査報告及び令和7年度の活動計画について説明を受け、適正な管理が行われていることを確認した。

令和7年9月5日
札幌医科大学医療安全監査委員会
委員長 橋場 弘之